

2011年4月26日

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

# みはらしの丘の ネモフィラが 見頃を迎えます。

2011年4月20日撮影

## お問い合わせ先

国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター  
広報宣伝チーム 青木・服部・和光  
〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4  
TEL : 029-265-9001 (報道関係者の方は 9004・9005)  
FAX : 029-265-9339  
<http://www.hitachikaihin.go.jp>  
“ひたち海浜公園”で検索

国営ひたち海浜公園のネモフィラが、間もなく見頃を迎えます。

みはらしの丘では、450万本の青い花々が震災の影響を微塵も感じさせることなく咲いています。

青い空と青い海に囲まれた、一面青の世界。今年で10年目を迎えるこの景色は、昨年と変わらぬ美しさを見せつつも、平穏なひと時の大切さを、訪れた方々に感じさせているような気がします。

ネモフィラはGWが一番の見頃を迎えます。この場所の、この時期だけに許された景色を、是非ご覧ください。



# 一面に広がる 青の世界。

ひたちなか市で最も高い場所にある「みはらしの丘」。その丘に咲き、潮風に揺れる可憐な花。花径わずか2〜3センチほどの小さな花が、3万5千㎡の丘一面を覆い尽くします。

その日の天気や時間帯によって、様々に変化していく青色。

『わあ…。』

初めてこの景色を目の当たりにした人は、感嘆の声と表情を隠せません。

丘を登っていくと、一歩一歩、空へ空へと近づいていくのがわかります。そして近づくにつれ、空と丘の境界線を見失ってしまいます。丘の向こうには、太平洋が静かに広がります…。

空と海と丘が創り出す青の景色が、訪れる人々を優しく包み込んでくれます。

## 復興への 道のりが始まる。

このように美しい「みはらしの丘」のある場所も、かつては日本陸軍の水戸飛行場や米軍の射爆撃場のある場所でした。

平和を願う地域の人々の思いにより当公園が誕生してから今年で20周年、この丘にネモフィラを植栽してから10年目となります。年月を経て、この丘は多くの人に安らぎを与える場所となりました。

そして、この地域がこれから歩む復興の道のりは、ネモフィラが丘を青く染めるこの時期から始まります。

これからの復興には、一人でも多くの方にこの地域を訪れていただくが必要です。近隣の観光施設、地元の方々と共に復興の道を歩んでいきたいと思っておりますので、是非とも足をお運びください。





# ひたち海浜公園 「歴史ギャラリー」展示中。

～花いっぱいのが園が  
誕生するまで～



みはらしの丘になった場所からも  
多数の不発弾が掘り起こされました。

 国営ひたち海浜公園

TEL.029.265.9001  
<http://www.hitachikaihin.go.jp>



五か月後、青いみはらしの丘は  
赤い丘へと変わります。

■場 所…記念の森レストハウス内  
■展 示…写真を中心としたパネル 15枚  
訓練で使用された爆弾

現在、花々が美しく咲くこの公園がある場所は、かつては日本軍水戸東飛行場があり、終戦後は米軍により射爆撃場として使われていました。誤爆や騒音に苦しめられた地元住民を中心とした十数年にわたる返還運動により、昭和48年3月に日本に返還されました。その後、「平和の象徴として公園を整備したい」という地元の強い思いにより、『国営ひたち海浜公園』が誕生することになりました。

無数の爆弾や銃弾が撃ち込まれた標的の跡は、今では花いっぱいのに生まれ変わりました。

当公園では、この地域の歴史の一端を来園された皆様に知って頂こうと、記念の森レストハウス内に「歴史ギャラリー」を設けました。当公園から発見された不発弾を展示し、写真パネルを中心に紹介しています。来園の折には是非お立ち寄りください。